

2.3. ヤングケアラーについて

2.3.1. 保護者の状況

(1) 子どもが家族の世話をすること

保護者票問 2 1. お子さんは、お子さん自身の親やきょうだいなど家族のお世話（食事・洗濯・介助など）をどのくらいしていますか。それをどう思いますか。また、ヤングケアラーという言葉を知っていますか。

(1) どのくらいしていますか（あてはまるものすべてに○）

子どもが家族の世話をすることについて、「していない」の割合が 61.3%、「いつもはしていないが、家族にお願いされたときは世話をしている」の割合が 33.5%、「家族の世話をしているが、学校や勉強に問題はない」の割合が 5.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「していない」の割合は 44.6%で、他の水準の世帯と比べて低く、「いつもはしていないが、家族にお願いされたときは世話をしている」の割合は 48.4%で、他の水準の世帯と比べて高くなっている。

世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「していない」の割合は 53.8%で「ふたり親世帯」に比べて低く、「いつもはしていないが、家族にお願いされたときは世話をしている」の割合は 41.5%で「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

図 2-3-1-1 子どもが家族の世話をどれくらいしているかについて

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。

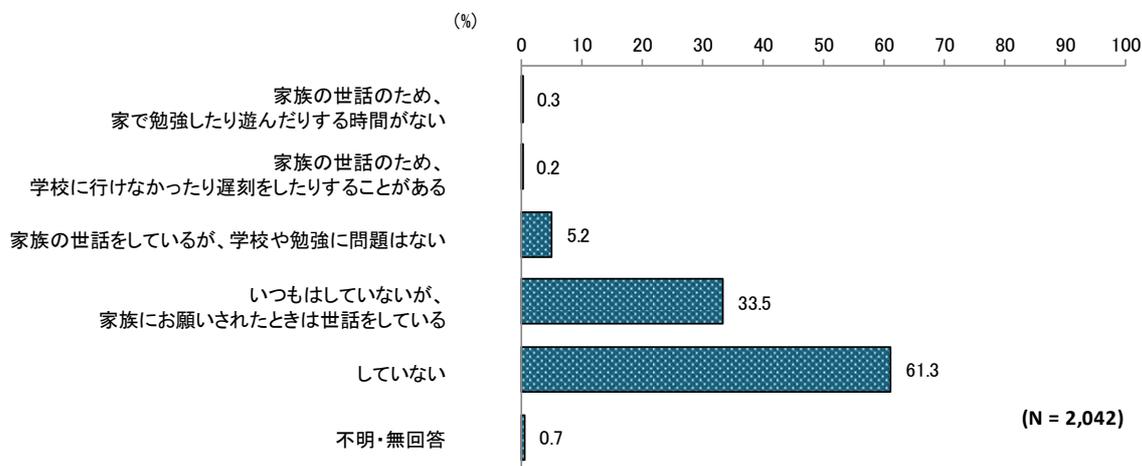


図 2-3-1-2 【等価世帯収入の水準別】子どもが家族の世話をどれぐらいしているかについて

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	家族の世話 のため、家で 勉強したり遊 んだりする時 間がない	家族の世話 のため、学校 に行けなかつ たり遅刻をし たりすること がある	家族の世話 をしている が、学校や 勉強に問題 はない	いつもはして いないが、家 族にお願いさ れたときは世 話をしている	していない
全 体		2,028	0.3	0.2	5.3	33.7	61.7
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	213	0.9	0.0	8.9	48.4	44.6
	中央値未満	780	0.1	0.3	5.5	33.6	61.7
	中央値以上	1,035	0.4	0.2	4.3	30.8	65.2

図 2-3-1-3【世帯状況別】子どもが家族の世話をどれぐらいしているかについて

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	家族の世話 のため、家で 勉強したり遊 んだりする時 間がない	家族の世話 のため、学校 に行けなかつ たり遅刻をし たりすること がある	家族の世話 をしている が、学校や 勉強に問題 はない	いつもはして いないが、家 族にお願いさ れたときは世 話をしている	していない
全 体		2,028	0.3	0.2	5.3	33.7	61.7
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,830	0.3	0.2	5.2	32.8	62.6
	【ひとり親世帯】	195	0.5	0.0	5.6	41.5	53.8
	母子世帯のみ	180	0.6	0.0	5.0	41.7	54.4

(2) 子どもが家族の世話をすることについて思うこと

保護者票問 2 1. お子さんは、お子さん自身の親やきょうだいなど家族のお世話（食事・洗濯・介助など）をどのくらいしていますか。それをどう思いますか。また、ヤングケアラーという言葉を知っていますか。

(2) どう思いますか（あてはまるものすべてに○）

子どもが家族の世話をすることをどう思うかについて、「子どもが家族の世話をする必要はないと思う」の割合が 50.6%、「家族の世話をするのは当たり前だと思う」の割合が 24.2%、「家族の世話をするのはつらそうだと思うことがあるが仕方がない」の割合が 21.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「子どもが家族の世話をする必要はないと思う」の割合は 42.3%で他の水準の世帯と比べて低く、「家族の世話をするのは当たり前だと思う」の割合は 38.7%で他の水準の世帯と比べて高くなっている。

世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「子どもが家族の世話をする必要はないと思う」の割合は 48.3%で「ふたり親世帯」に比べて低く、「家族の世話をするのは当たり前だと思う」の割合は 34.7%で「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

図 2-3-1-4 子どもが家族の世話をすることについてどう思うか

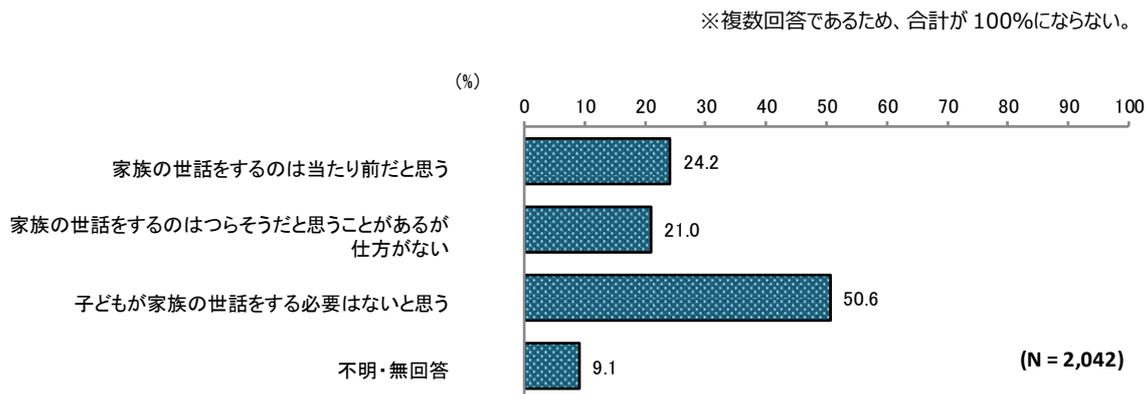


図 2-3-1-5 【等価世帯収入の水準別】子どもが家族の世話をすることについてどう思うか

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全体	家族の世話をするのは当たり前だと思う	家族の世話をするのはつらそうだと思うことがあるが仕方がない	子どもが家族の世話をする必要はないと思う
全体		1,857	26.6	23.1	55.6
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	194	38.7	25.8	42.3
	中央値未満	706	24.1	25.5	54.4
	中央値以上	957	26.0	20.8	59.2

図 2-3-1-6【世帯状況別】子どもが家族の世話をすることについてどう思うか

※複数回答であるため、合計が100%にならない。(件、%)

		全 体	家族の世話を するのは 当たり前だ と思う	家族の世話を するのは つらそうと 思うことが あるが仕方 がない	子どもが家 族の世話を する必要は ないと思う
全 体		1,857	26.6	23.1	55.6
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,678	25.7	22.9	56.5
	【ひとり親世帯】	176	34.7	23.9	48.3
	母子世帯のみ	162	34.6	24.1	48.8

(3) ヤングケアラーという言葉の認知度

保護者票問 2 1. お子さんは、お子さん自身の親やきょうだいなど家族のお世話（食事・洗濯・介助など）をどのくらいしていますか。それをどう思いますか。また、ヤングケアラーという言葉を知っていますか。
 (3) ヤングケアラーという言葉を知っていますか（あてはまるもの1つに○）

ヤングケアラーという言葉を知っているかについて、「知っている」の割合が 87.5%、「知らない」の割合が 7.3%、「聞いたことがあるが、どんなものかは知らない」の割合が 4.9%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「知っている」の割合は 74.2%で他の水準の世帯と比べて低く、「知らない」の割合は 19.8%で他の水準の世帯と比べて高くなっている。

世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「知っている」の割合は 75.1%で「ふたり親世帯」に比べて低く、「知らない」の割合は 18.3%で「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

図 2-3-1-7 ヤングケアラーという言葉の認知度について

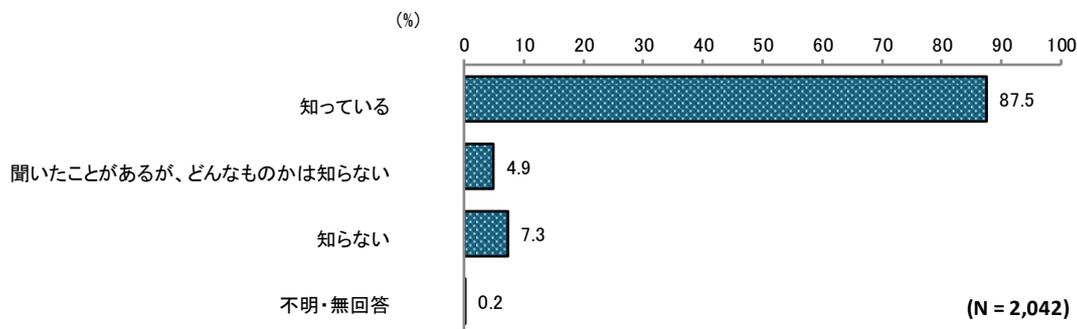


図 2-3-1-8 【等価世帯収入の水準別】ヤングケアラーという言葉の認知度について

(件、%)

		全体	知っている	聞いたことがあるが、 どんなものかは知らない	知らない
全体		2,037	87.7	4.9	7.4
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	217	74.2	6.0	19.8
	中央値未満	784	87.2	5.6	7.1
	中央値以上	1,036	90.9	4.2	4.9

図 2-3-1-9 【世帯状況別】ヤングケアラーという言葉の認知度について

(件、%)

		全体	知っている	聞いたことがあるが、 どんなものかは知らない	知らない
全体		2,037	87.7	4.9	7.4
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,837	89.1	4.7	6.2
	【ひとり親世帯】	197	75.1	6.6	18.3
	母子世帯のみ	182	77.5	5.5	17.0

2.3.2.子どもの状況

(1) 家族の世話をすること

子ども票問16. あなたは親やきょうだいなど家族のお世話（食事・洗濯・介助など）をしていますか。

またお世話をするについてどう思いますか。（あてはまるものすべてに○）

(1) どのくらいしていますか

家族の世話をどれくらいしているかについて、「いつもしていないが、家族にお願いされたときには世話をしている」の割合が45.8%、「していない」の割合が41.8%、「家族の世話をしているが、学校や勉強に問題はない」の割合が14.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「していない」の割合が34.1%で他の水準の世帯と比べて低く、「いつもしていないが、家族にお願いされたときには世話をしている」の割合が55.6%で他の水準の世帯と比べて高くなっている。

世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「していない」の割合が36.4%で「ふたり親世帯」と比べて低く、「いつもはしていないが、家族にお願いされたときは世話をしている」の割合は54.4%で「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

図 2-3-2-1 家族の世話をどれくらいしているかについて

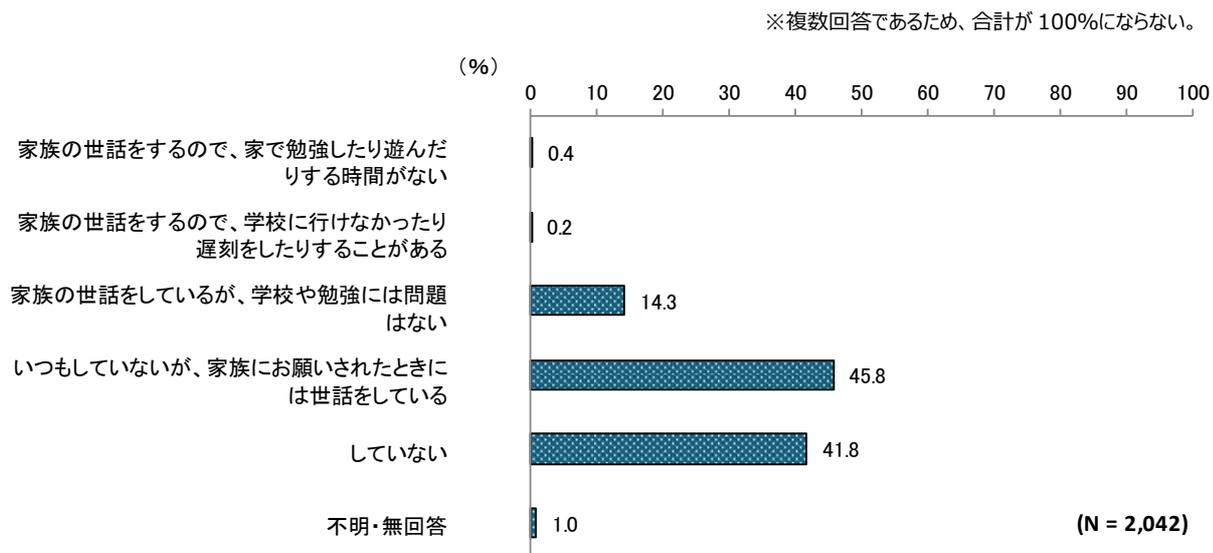


図 2-3-2-2 【等価世帯収入の水準別】家族の世話をどれぐらいしているかについて

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	家族の世話を するので、 家で勉強し たり遊んだり する時間が ない	家族の世話を するので、 学校に行け なかつたり遅 刻をしたりす ることがある	家族の世話を している が、学校や 勉強には問 題はない	いつもしてい ないが、家族 にお願いされ たときには世 話をしている	していない
全 体		2,021	0.4	0.2	14.5	46.3	42.3
等価世 帯収入	中央値の2分の1未満	214	0.0	0.9	15.4	55.6	34.1
	中央値未満	776	0.5	0.1	15.7	45.5	42.5
	中央値以上	1,031	0.4	0.1	13.4	45.0	43.7

図 2-3-2-3 【世帯状況別】家族の世話をどれぐらいしているかについて

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	家族の世話を するので、 家で勉強し たり遊んだり する時間が ない	家族の世話を するので、 学校に行け なかつたり遅 刻をしたりす ることがある	家族の世話を している が、学校や 勉強には問 題はない	いつもしてい ないが、家族 にお願いされ たときには世 話をしている	していない
全 体		2,021	0.4	0.2	14.5	46.3	42.3
世帯状況 (保護者・ 問2)	【ふたり親世帯】	1,823	0.4	0.2	14.8	45.5	42.8
	【ひとり親世帯】	195	0.0	0.5	12.3	54.4	36.4
	ひとり親世帯のうち母子世帯	180	0.0	0.6	11.7	55.6	36.1

(2) 家族の世話をすることについて思うこと

子ども票問16. あなたは親やきょうだいなど家族のお世話（食事・洗濯・介助など）をしていますか。

またお世話をするについてどう思いますか。（あてはまるものすべてに○）

(2) どう思いますか

家族の世話をすることをどう思うかについて、「家族の世話をするのは当たり前だと思う」の割合が46.0%、「自分が家族の世話をする必要はないと思う」の割合が22.3%、「家族の世話をするのはつらいことがある」の割合が11.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「家族の世話をするのはつらいことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯で12.2%、「中央値未満」の世帯で11.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯で12.9%となっている。

世帯状況別にみると、「家族の世話をするのはつらいことがある」の割合は、「ふたり親世帯」で11.9%、「ひとり親世帯」で14.2%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」で15.4%となっている。

図 2-3-2-4 家族の世話をすることについてどう思うか

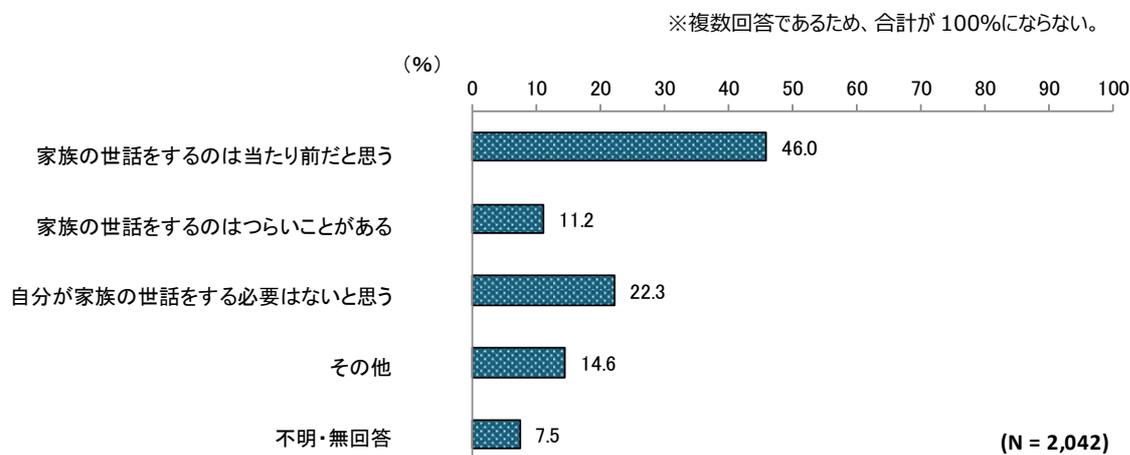


図 2-3-2-5 【等価世帯収入の水準別】家族の世話をすることについてどう思うか

※複数回答であるため、合計が100%にならない。（件、%）

		全 体	家族の世話をするのは当たり前だと思う	家族の世話をするのはつらいことがある	自分が家族の世話をする必要はないと思う	その他
全 体		1,888	49.8	12.1	24.1	15.8
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	202	51.5	12.9	22.3	14.4
	中央値未満	726	50.4	11.8	24.2	15.2
	中央値以上	960	49.0	12.2	24.4	16.6

図 2-3-2-6 【世帯状況別】家族の世話をすることについてどう思うか

※複数回答であるため、合計が100%にならない。（件、%）

		全 体	家族の世話をするのは当たり前だと思う	家族の世話をするのはつらいことがある	自分が家族の世話をする必要はないと思う	その他
全 体		1,888	49.8	12.1	24.1	15.8
世帯状況 (保護者・問2)	【ふたり親世帯】	1,703	49.9	11.9	24.1	16.0
	【ひとり親世帯】	183	49.2	14.2	24.6	13.1
	ひとり親世帯のうち母子世帯	169	47.3	15.4	24.3	14.2

(3) ヤングケアラーという言葉の認知度

子ども票問17. あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

ヤングケアラーという言葉を知っているかについて、「知らない」の割合が50.5%、「知っている」の割合が30.9%、「聞いたことがあるが、どんなものかは知らない」の割合が17.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「知っている」の割合が22.9%で他の水準の世帯と比べて低く、「知らない」の割合が62.1%で他の水準の世帯と比べて高くなっている。

世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「知っている」の割合が23.6%で「ふたり親世帯」に比べて低く、「知らない」の割合が61.0%で「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

図 2-3-2-7 ヤングケアラーという言葉の認知度について

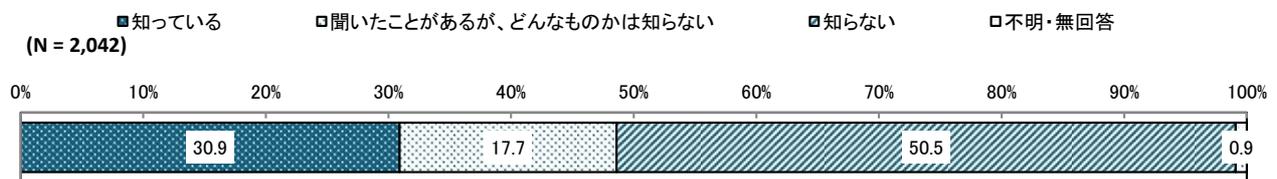


図 2-3-2-8 【等価世帯収入の水準別】ヤングケアラーという言葉の認知度について

(件、%)

		全 体	知っている	聞いたことがあるが、どんなものかは知らない	知らない
全 体		2,024	31.2	17.8	51.0
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	214	22.9	15.0	62.1
	中央値未満	777	27.3	17.8	55.0
	中央値以上	1,033	35.8	18.5	45.7

図 2-3-2-9 【世帯状況別】ヤングケアラーという言葉の認知度について

(件、%)

		全 体	知っている	聞いたことがあるが、どんなものかは知らない	知らない
全 体		2,024	31.2	17.8	51.0
世帯状況 (保護者・ 問2)	【ふたり親世帯】	1,826	32.0	18.1	49.9
	【ひとり親世帯】	195	23.6	15.4	61.0
	ひとり親世帯のうち母子世帯	180	24.4	15.6	60.0

2.3.3. 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況

(1) 家族の世話をすること

保護者が考える子どもが家族の世話をすることの回答（図 2-3-1-1 参照）と、子ども自身が家族の世話をすることの回答（図 2-3-2-1 参照）の一致・不一致の状況について、「認識が一致している」、「保護者が子どもの負担感を強く感じている」、「子どもが保護者が考えるより負担感を強く感じている」の3分類で集計した。

その結果、「認識が一致している」の割合は 61.1%、「保護者が子どもの負担感を強く感じている」の割合は 5.7%、「子どもが保護者が考えるより負担感を強く感じている」の割合は 21.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「認識が一致している」の割合は、「中央値以上」の世帯では 67.6%、「中央値未満」の世帯では 68.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 79.8%となっている。

世帯状況別にみると、「認識が一致している」の割合は、「ふたり親世帯」では 68.7%、「ひとり親世帯」では 74.6%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 75.5%となっている。

図 2-3-3-1 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況 (1) 家族の世話をすること

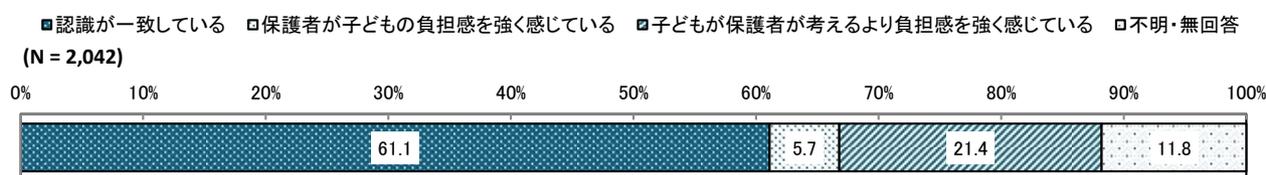


図 2-3-3-2 【等価世帯収入の水準別】保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況 (1) 家族の世話をすること (件、%)

		全 体	認識が一致している	保護者が子どもの負担感を強く感じている	子どもが保護者が考えるより負担感を強く感じている
全 体		1,802	69.3	6.5	24.3
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	188	79.8	5.3	14.9
	中央値未満	693	68.5	7.1	24.4
	中央値以上	921	67.6	6.3	26.1

図 2-3-3-3 【世帯状況別】保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況 (1) 家族の世話をすること (件、%)

		全 体	認識が一致している	保護者が子どもの負担感を強く感じている	子どもが保護者が考えるより負担感を強く感じている
全 体		1,802	69.3	6.5	24.3
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,622	68.7	6.5	24.7
	【ひとり親世帯】	177	74.6	5.1	20.3
	ひとり親世帯のうち母子世帯	163	75.5	4.3	20.2

(2) 家族の世話をすることについて思うこと

保護者が考える子どもが家族の世話をすることについて思うこと（図 2-3-1-4 参照）と、子ども自身が家族の世話をすることについて思うこと（図 2-3-2-4 参照）の一致・不一致の状況について、「認識が一致している」、「保護者が子どもの負担感を強く感じている」、「子どもが保護者が考えるより負担感を強く感じている」の3分類で集計した。

その結果、「認識が一致している」の割合は32.7%、「保護者が子どもの負担感を強く感じているの割合は31.1%」、「子どもが保護者が考えるより負担感を強く感じている」の割合は8.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「認識が一致している」の割合は、「中央値以上」の世帯では46.7%、「中央値未満」の世帯では41.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では52.5%となっている。また、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「保護者が子どもの負担を強く感じている」の割合が33.5%と他の水準の世帯と比べて低くなっている。

世帯状況別にみると、「認識が一致している」の割合は、「ふたり親世帯」では45.0%、「ひとり親世帯」では48.6%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では48.5%となっている。

図 2-3-3-4 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況 (2) 家族の世話をすることについて思うこと

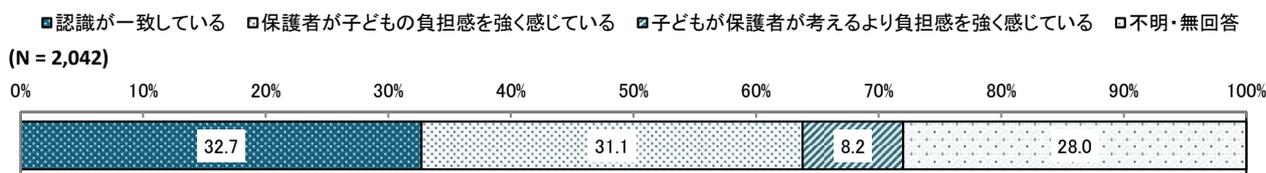


図 2-3-3-5 【等価世帯収入の水準別】保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況

(2) 家族の世話をすることについて思うこと

(件、%)

		全 体	認識が一致している	保護者が子どもの負担感を強く感じている	子どもが保護者が考えるより負担感を強く感じている
全 体		1,471	45.3	43.2	11.4
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	158	52.5	33.5	13.9
	中央値未満	559	41.5	46.2	12.3
	中央値以上	754	46.7	43.1	10.2

図 2-3-3-6 【世帯状況別】保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況

(2) 家族の世話をすることについて思うこと

(件、%)

		全 体	認識が一致している	保護者が子どもの負担感を強く感じている	子どもが保護者が考えるより負担感を強く感じている
全 体		1,471	45.3	43.2	11.4
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,322	45.0	43.8	11.2
	【ひとり親世帯】	148	48.6	37.8	13.5
	ひとり親世帯のうち母子世帯	134	48.5	37.3	14.2

(3) ヤングケアラーという言葉の認知度

ヤングケアラーという言葉の保護者の認知度（図 2-3-1-7 参照）と、子どもの認知度（図 2-3-2-7 参照）の一致・不一致の状況について、「認識が一致している」、「保護者は認識している」、「子どもは認識している」の 3 分類で集計した。

その結果、「認識が一致している」の割合は 35.9%、「保護者は認識している」の割合は 44.6%、「子どもは認識している」の割合は 1.5%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「認識が一致している」の割合は、「中央値以上」の世帯では 48.1%、「中央値未満」の世帯では 38.7%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 41.9%となっている。

世帯状況別にみると、「認識が一致している」の割合は、「ふたり親世帯」では 44.1%、「ひとり親世帯」では 42.2%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 42.9%となっている。

図 2-3-3-7 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況 (3) ヤングケアラーという言葉の認知度

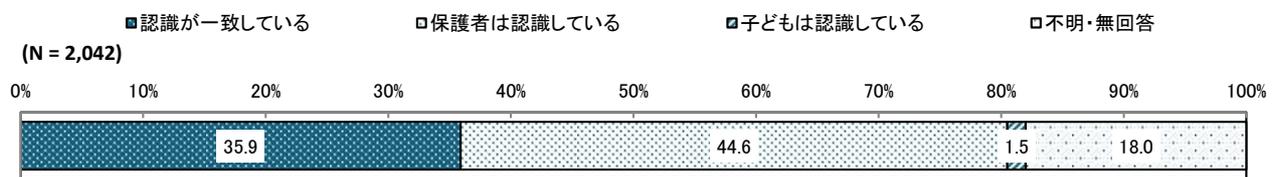


図 2-3-3-8 【等価世帯収入の水準別】保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況

(3) ヤングケアラーという言葉の認知度

(件、%)

		全 体	認識が一致している	保護者は認識している	子どもは認識している
全 体		1,675	43.8	54.3	1.9
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	186	41.9	53.2	4.8
	中央値未満	639	38.7	59.6	1.7
	中央値以上	850	48.1	50.6	1.3

図 2-3-3-9 【世帯状況別】保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況

(3) ヤングケアラーという言葉の認知度

(件、%)

		全 体	認識が一致している	保護者は認識している	子どもは認識している
全 体		1,675	43.8	54.3	1.9
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,507	44.1	54.3	1.6
	【ひとり親世帯】	166	42.2	53.6	4.2
	ひとり親世帯のうち母子世帯	154	42.9	53.2	3.9

2.4. 支援の利用状況や効果等

2.4.1. 保護者の状況

(1) 支援制度の利用状況

保護者票問 2 8. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～fそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

- a. 就学援助
- b. 生活保護
- c. 岡山市寄り添いサポートセンター
- d. 児童扶養手当
- e. 地域子ども相談センター
- f. 小口資金・生活福祉資金の貸付

支援制度の利用状況について、「就学援助」や「児童扶養手当」については、「現在利用している」の割合が 10%程度、「生活保護」、「岡山市寄り添いサポートセンター」、「地域子ども相談センター」、「小口資金・生活福祉資金の貸付」については、「現在利用している」の割合は 1%以下となっている。

等価世帯収入が「中央値未満」の世帯（中央値の 2 分の 1 以上で中央値未満の世帯）に限って集計すると、「現在利用している」と「現在利用していないが以前利用したことがある」を合わせた割合は、「就学援助」は 20.6%、「児童扶養手当」は 11.7%、それ以外は 5%未満となっている。等価世帯収入が「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」と「現在利用していないが以前利用したことがある」を合わせた割合は、「就学援助」は 72.8%、「児童扶養手当」は 50.7%となっている。それ以外は、「地域子ども相談センター」は 10.6%、「小口資金・生活福祉資金の貸付」は 10.1%、それ以外は 10%未満となっている。

「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」と「現在利用していないが以前利用したことがある」を合わせた割合は、「就学援助」は 68.7%、「児童扶養手当」は 68.7%、「地域子ども相談センター」は 12.6%、それ以外は 10%未満となっている。「ひとり親世帯のうち母子世帯」に限って集計すると、「現在利用している」と「現在利用していないが以前利用したことがある」を合わせた割合は、「就学援助」については 71.6%、「児童扶養手当」については 70.0%、「地域子ども相談センター」は 13.1%、それ以外は 10%未満となっている。

図 2-4-1-1 支援制度の利用状況

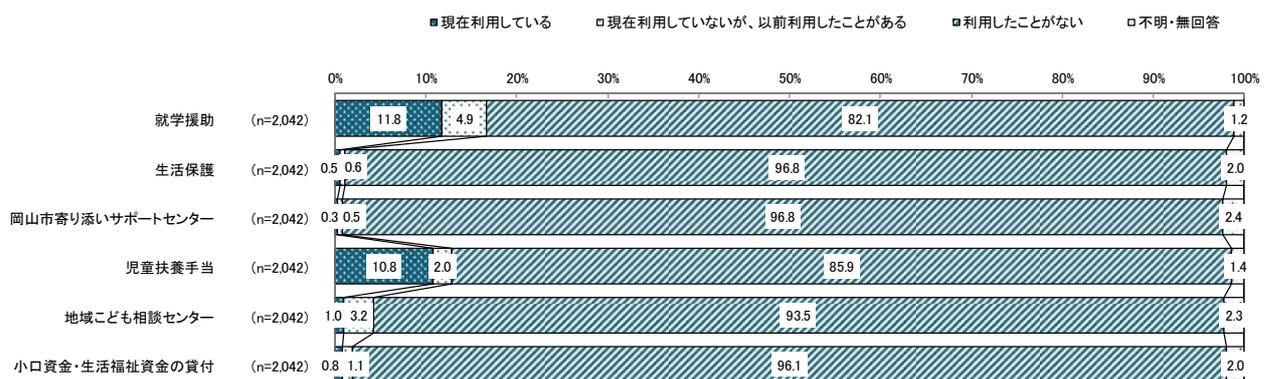


図 2-4-1-2 等価世帯収入が「中央値未満」の場合の支援制度の利用状況

(件、%)

	全 体	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	不明・無回答
就学援助	786	11.8	8.8	78.2	1.1
生活保護	786	0.1	0.6	97.2	2.0
岡山市寄り添いサポートセンター	786	0.1	0.6	96.8	2.4
児童扶養手当	786	9.3	2.4	86.5	1.8
地域こども相談センター	786	1.1	3.3	93.5	2.0
小口資金・生活福祉資金の貸付	786	0.8	0.8	96.3	2.2

図 2-4-1-3 等価世帯収入が「中央値の 2 分の 1 未満」の場合の支援制度の利用状況

(件、%)

	全 体	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	不明・無回答
就学援助	217	66.8	6.0	22.1	5.1
生活保護	217	4.6	3.2	82.5	9.7
岡山市寄り添いサポートセンター	217	2.3	2.3	84.3	11.1
児童扶養手当	217	47.0	3.7	43.8	5.5
地域こども相談センター	217	4.1	6.5	77.9	11.5
小口資金・生活福祉資金の貸付	217	3.2	6.9	81.6	8.3

図 2-4-1-4 世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度の利用状況

(件、%)

	全 体	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	不明・無回答
就学援助	198	62.1	6.6	27.3	4.0
生活保護	198	4.5	3.5	85.9	6.1
岡山市寄り添いサポートセンター	198	2.0	2.0	86.4	9.6
児童扶養手当	198	59.6	9.1	28.3	3.0
地域こども相談センター	198	4.5	8.1	78.3	9.1
小口資金・生活福祉資金の貸付	198	1.0	6.6	85.9	6.6

図 2-4-1-5 世帯の状況が「ひとり親世帯のうち母子世帯」の場合の支援制度の利用状況

(件、%)

	全 体	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	不明・無回答
就学援助	183	64.5	7.1	24.6	3.8
生活保護	183	4.9	3.8	85.2	6.0
岡山市寄り添いサポートセンター	183	2.2	2.2	85.8	9.8
児童扶養手当	183	60.7	9.3	26.8	3.3
地域こども相談センター	183	4.9	8.2	77.6	9.3
小口資金・生活福祉資金の貸付	183	1.1	7.1	85.2	6.6

(2) 支援制度を利用していない理由

各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると¹³、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が最も高くなっている。「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合は、「岡山市寄り添いサポートセンター」が19.1%、「地域子ども相談センター」が16.0%、「小口資金・生活福祉資金の貸付」が13.6%、「就学援助」が12.5%となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合は、「岡山市寄り添いサポートセンター」は19.1%、「地域子ども相談センター」は16.0%、「小口資金・生活福祉資金の貸付」は13.6%、「就学援助」は12.5%となっている。

「ひとり親世帯」に限って集計すると、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合は、「岡山市寄り添いサポートセンター」が21.1%、「地域子どもセンター」が15.5%、「小口資金・生活福祉資金の貸付」が13.0%、それ以外は10%未満となっている。「ひとり親世帯のうち母子世帯」に限って集計すると、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合は、「岡山市寄り添いサポートセンター」が21.6%、「地域子どもセンター」が14.7%、「小口資金・生活福祉資金の貸付」が12.2%、それ以外は10%未満となっている。

図 2-4-1-6 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度を利用していない理由

(件、%)

	全体	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	不明・無回答
就学援助	48	62.5	2.1	2.1	10.4	8.3	14.6
生活保護	179	68.2	2.2	1.1	4.5	12.8	11.2
岡山市寄り添いサポートセンター	183	30.1	17.5	9.8	9.3	21.3	12.0
児童扶養手当	95	66.3	0.0	0.0	7.4	12.6	13.7
地域子ども相談センター	169	29.0	21.9	5.9	10.1	18.9	14.2
小口資金・生活福祉資金の貸付	177	35.0	15.3	5.1	8.5	23.7	12.4

図 2-4-1-7 世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合の支援制度を利用していない理由

(件、%)

	全体	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	不明・無回答
就学援助	54	72.2	1.9	3.7	5.6	3.7	13.0
生活保護	170	71.2	1.8	1.2	2.9	12.4	10.6
岡山市寄り添いサポートセンター	171	26.3	21.6	12.3	8.8	19.9	11.1
児童扶養手当	56	67.9	0.0	0.0	5.4	14.3	12.5
地域子ども相談センター	155	23.2	27.1	8.4	7.1	21.9	12.3
小口資金・生活福祉資金の貸付	170	37.6	14.1	5.9	7.1	24.7	10.6

¹³ 全体で集計をすると、ほとんどが「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答となるため、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計を行った。

図 2-4-1-8 世帯の状況が「ひとり親世帯のうち母子世帯」の場合の支援制度を利用していない理由

(件、%)

	全 体	制度の対象外(収入等の条件を満たさないうから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	不明・無回答
就学援助	45	73.3	2.2	2.2	6.7	4.4	11.1
生活保護	156	70.5	1.9	1.3	3.2	12.8	10.3
岡山市寄り添いサポートセンター	157	24.2	22.9	12.7	8.9	19.7	11.5
児童扶養手当	49	69.4	0.0	0.0	6.1	14.3	10.2
地域こども相談センター	142	21.8	28.9	7.7	7.0	21.8	12.7
小口資金・生活福祉資金の貸付	156	37.2	14.7	5.8	6.4	25.0	10.9

(3) 自宅以外の子どもの居場所

保護者票問 18. 学校が終わった後、保護者が仕事などから帰宅するまでの間などに、自宅以外でお子さんの居場所が必要な場合どうしていますか。（あてはまるものすべてに○）

学校が終わった後、保護者が仕事などから帰宅するまでの間などの子どもの居場所について、「自宅にいる」の割合が 82.1%、「塾や習い事に行っている」の割合が 18.6%、「親族の家に預けている」の割合が 13.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「自宅にいる」の割合は、「中央値以上」の世帯では 82.6%、「中央値未満」の世帯では 85.0%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 78.0%、「塾や習い事に行っている」の割合は、「中央値以上」の世帯では 23.6%、「中央値未満」の世帯では 14.1%、「中央値未満」の世帯では 12.6%となっている。

世帯状況別にみると、「自宅にいる」の割合は、「ふたり親世帯」では 83.5%、「ひとり親世帯」では 79.1%、「塾や習い事に行っている」の割合は、「ふたり親世帯」では 19.3%、「ひとり親世帯」では 12.8%となっている。

図 2-4-1-9 自宅以外の子どもの居場所について

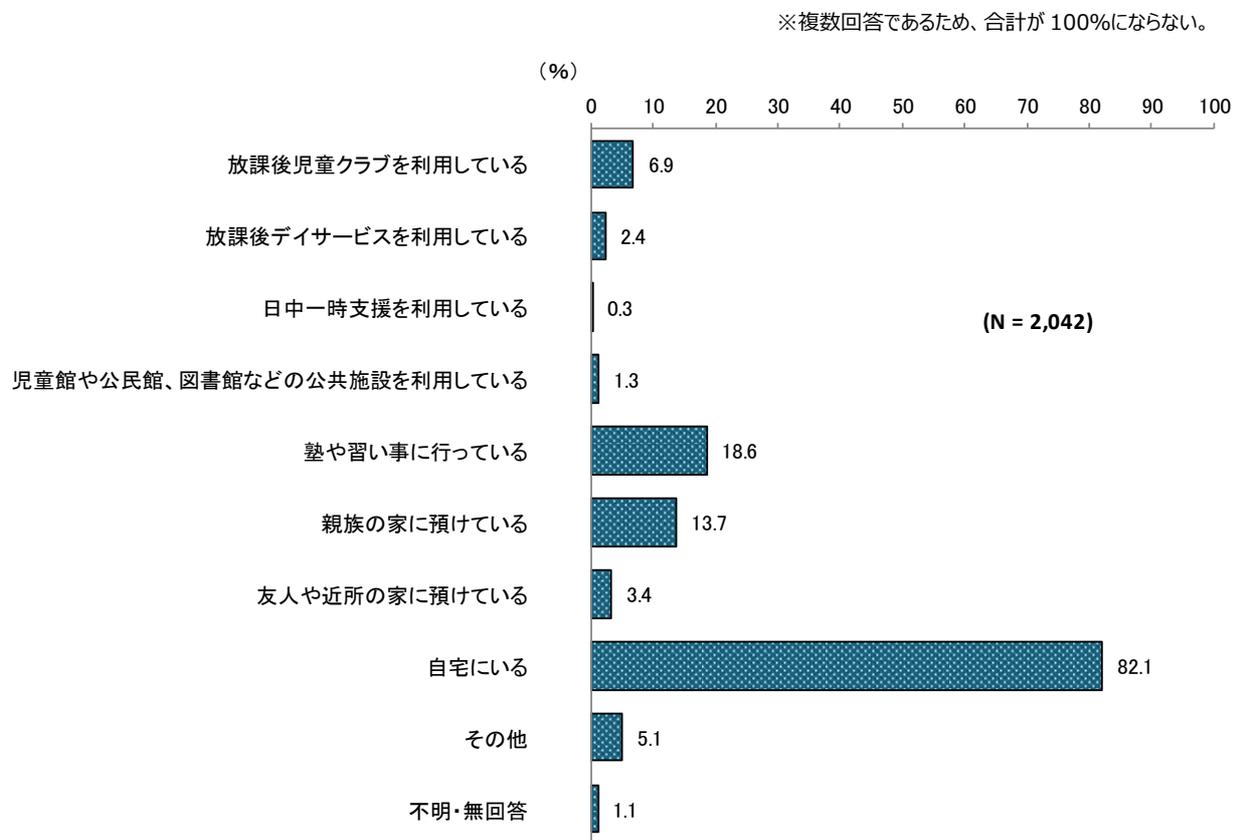


図 2-4-1-10 【等価世帯収入の水準別】自宅以外の子どもの居場所について

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	放課後児童 クラブを利用 している	放課後デイ サービスを利用 している	日中一時支 援を利用し ている	児童館や公 民館、図書 館などの公 共施設を利用 している	塾や習い事 に行っている	親族の家に 預けている	友人や近所 の家に預け ている	自宅にいる	その他
全 体		2,019	6.9	2.4	0.3	1.3	18.8	13.8	3.4	83.1	5.2
等価世帯 収入	中央値の2分の1未満	214	4.2	4.7	1.4	2.3	12.6	14.0	3.3	78.0	6.5
	中央値未満	780	5.1	3.3	0.3	1.3	14.1	13.3	3.1	85.0	4.0
	中央値以上	1,025	8.9	1.3	0.2	1.2	23.6	14.1	3.7	82.6	5.8

図 2-4-1-11 【世帯状況別】自宅以外の子どもの居場所について

(件、%)

		全 体	放課後児童 クラブを利用 している	放課後デイ サービスを利用 している	日中一時支 援を利用し ている	児童館や公 民館、図書 館などの公 共施設を利用 している	塾や習い事 に行っている	親族の家に 預けている	友人や近所 の家に預け ている	自宅にいる	その他
全 体		2,019	6.9	2.4	0.3	1.3	18.8	13.8	3.4	83.1	5.2
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,820	6.7	2.2	0.2	1.3	19.3	14.1	3.6	83.5	5.1
	【ひとり親世帯】	196	9.2	4.6	1.5	1.5	12.8	11.7	2.0	79.1	6.1
	母子世帯のみ	181	8.3	5.0	1.7	1.7	12.2	12.7	2.2	79.0	5.5

(4) 子どもの様々な生活の世話をしてもらえる居場所について

保護者票問 19. 学校や放課後児童クラブ等が終わった後、引き続き、保護者が仕事などから帰宅するまでの間などに、無料または低料金で子どもが自由に安全に過ごせて、食事の提供や子どもの様々な生活の世話をしてもらえる居場所（例えばこども食堂など）があることを知っていますか。また、身近にあれば参加させたいと思いますか。
（あてはまるもの1つに○）

子どもの様々な生活の世話をしてもらえる居場所（例えばこども食堂など）についての認知度は、「知っているが、あっても参加させたくない」、「知っている、身近にあれば参加させたい」、「知っている、現在参加している」、「知っている、参加させたいかどうか分からない」を合わせた「知っている」と回答した割合は 50.1%、「知らない、あっても参加させたくない」、「知らないが、あれば参加させたい」、「知らない、参加させたいかどうか分からない」を合わせた「知らない」と回答した割合は 49.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「知らない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では 46.5%、「中央値未満」の世帯では 51.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では、が 57.5%となっており、その中でも「知らないが、あれば参加させたい」の割合が 19.2%と他の水準の世帯と比べて高くなっている。また、「知らないが、あれば参加させたい」、「知っている、身近にあれば参加させたい」、「知っている、現在参加している」を合わせた「参加させたい」と回答した割合は 33.3%と他の水準の世帯と比べて高くなっている。

世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「知らない」と回答した割合が 57.6%と「ふたり親世帯」と比べて高く、その中でも「知らないが、あれば参加させたい」の割合が 17.3%と「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。また、「参加させたい」と回答した割合は 29.5%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

図 2-4-1-12 子どもの生活の世話をしてもらえる場所について

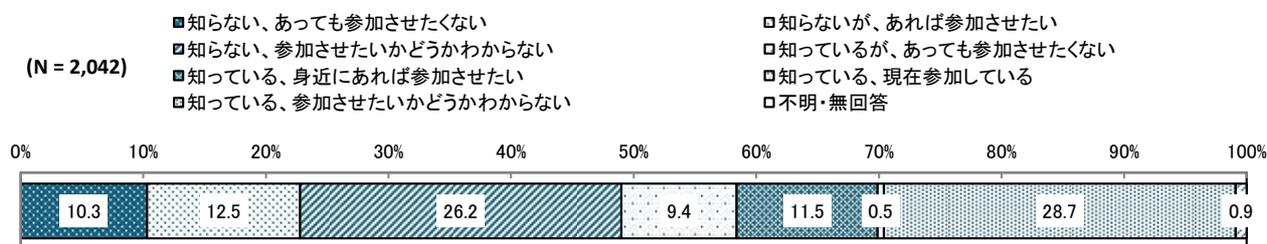


図 2-4-1-13 【等価世帯収入の水準別】子どもの生活の世話をしてもらえる場所について

(件、%)

	全体	知らない、あっても参加させたくない	知らないが、あれば参加させたい	知らない、参加させたいかどうか分からない	知っているが、あっても参加させたくない	知っている、身近にあれば参加させたい	知っている、現在参加している	知っている、参加させたいかどうか分からない	
		件	件	件	件	件	件	件	
全体	2,024	10.4	12.6	26.4	9.5	11.6	0.5	29.0	
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	214	9.8	19.2	28.5	7.5	13.6	0.5	21.0
	中央値未満	781	10.2	12.7	28.3	9.2	13.2	0.8	25.6
	中央値以上	1,029	10.6	11.3	24.6	10.1	9.9	0.3	33.2

図 2-4-1-14 【世帯状況別】子どもの生活の世話をしてもらえる場所について

(件、%)

		全 体	知らない、 あっても参 加させたくな い	知らない が、あれば 参加させたい	知らない、 参加させたい かどうか わからない	知っている が、あっても 参加させたく ない	知っている、 身近にあれば 参加させたい	知っている、 現在参加し ている	知っている、 参加させたい かどうか わからない
全 体		2,024	10.4	12.6	26.4	9.5	11.6	0.5	29.0
世帯 状況別	【ふたり親世帯】	1,825	10.2	12.1	26.2	9.9	11.6	0.5	29.5
	【ひとり親世帯】	196	12.2	17.3	28.1	6.1	11.7	0.5	24.0
	母子世帯のみ	181	11.6	17.1	27.6	6.1	12.7	0.6	24.3

(5) 子育てで必要だと感じている支援等

保護者票問 20. あなたが、お子さんを育てるうえで必要だと感じている支援や、地域があればすぐにでも利用したいと思うものはどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

子育てで必要だと感じている支援について、「高校・大学等の進学のための返済不要の奨学金」の割合が 74.7%、「給食費や修学旅行費、部活動に係る費用などへの援助」の割合が 50.6%、「美術館見学やキャンプ体験など子どもが無料で体験活動や学習活動に参加できる事業や制度」の割合が 43.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値未満」の世帯及び「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「高校・大学等の進学のための返済不要の奨学金」と「給食費や修学旅行費、部活動に係る費用などへの援助」の割合が他の水準の世帯と比べて高くなっている。

世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「高校・大学等の進学のための返済不要の奨学金」と「給食費や修学旅行費、部活動に係る費用などへの援助」の割合が「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

図 2-4-1-15 子育てで必要だと感じている支援について

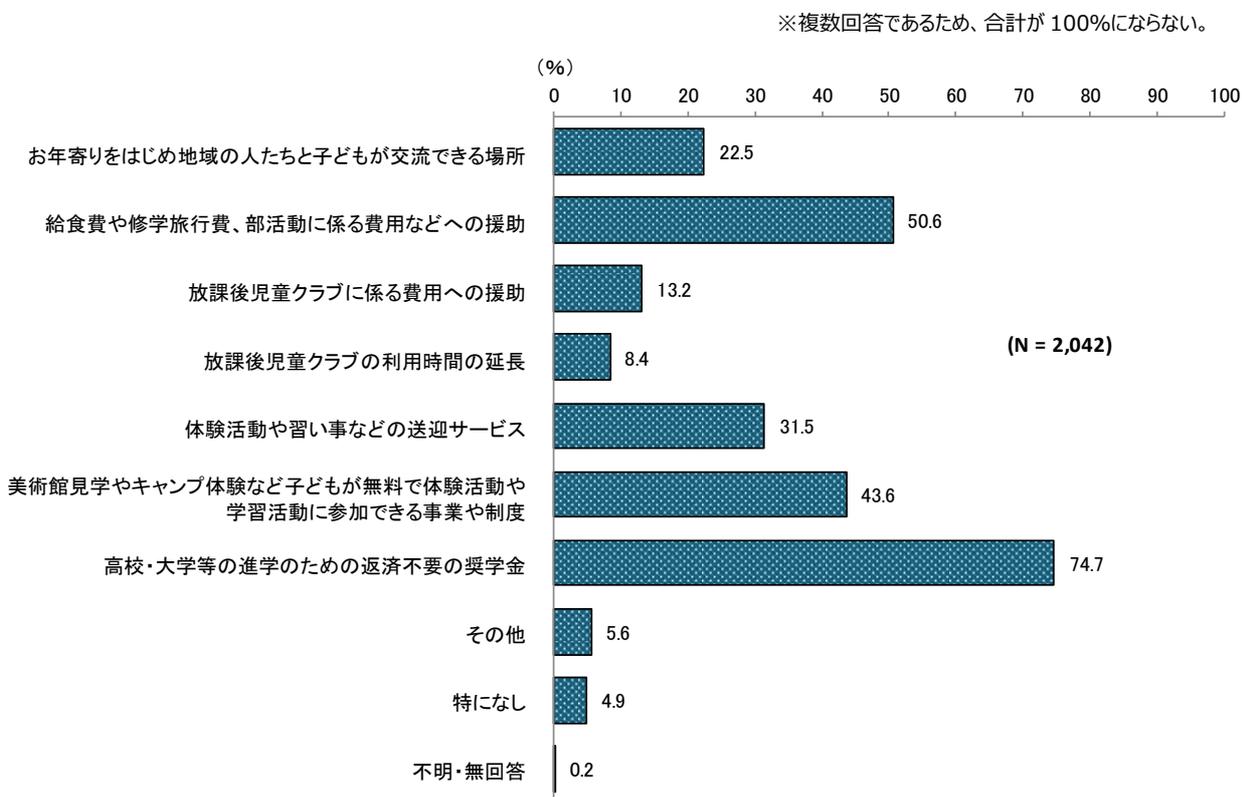


図 2-4-1-16 【等価世帯収入の水準別】子育てで必要だと感じている支援について

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	お年寄りをはじめ地域の人たちと子どもが交流できる場所	給食費や修学旅行費、部活動に係る費用などへの援助	放課後児童クラブに係る費用への援助	放課後児童クラブの利用時間の延長	体験活動や習い事などの送迎サービス	美術館見学やキャンプ体験など子どもが無料で体験活動や学習活動に参加できる事業や制度	高校・大学等の進学のための返済不要の奨学金	その他	特になし
全 体		2,037	22.5	50.7	13.3	8.4	31.6	43.7	74.9	5.6	5.0
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	217	18.4	70.0	18.0	8.8	25.3	39.2	82.5	6.9	1.8
	中央値未満	786	22.3	60.9	13.7	7.1	28.9	41.7	81.8	5.9	2.9
	中央値以上	1,034	23.6	38.9	11.9	9.3	34.9	46.1	68.1	5.1	7.2

図 2-4-1-17 【世帯状況別】子育てで必要だと感じている支援について

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

		全 体	お年寄りをはじめ地域の人たちと子どもが交流できる場所	給食費や修学旅行費、部活動に係る費用などへの援助	放課後児童クラブに係る費用への援助	放課後児童クラブの利用時間の延長	体験活動や習い事などの送迎サービス	美術館見学やキャンプ体験など子どもが無料で体験活動や学習活動に参加できる事業や制度	高校・大学等の進学のための返済不要の奨学金	その他	特になし
全 体		2,037	22.5	50.7	13.3	8.4	31.6	43.7	74.9	5.6	5.0
世帯状況別	【ふたり親世帯】	1,836	23.3	48.7	12.8	8.2	31.8	44.4	73.8	5.2	5.3
	【ひとり親世帯】	198	15.2	68.7	17.2	10.6	29.3	36.4	84.8	9.1	1.5
	母子世帯のみ	183	15.8	69.9	18.0	10.4	28.4	36.1	85.2	9.8	1.6

2.4.2.子どもの状況

(1) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所

子ども票問 2 4. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いませんか。

(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

a. (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (放課後児童クラブや児童館など)

支援制度・居場所等の利用状況について、「(自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (放課後児童クラブや児童館など)」に関しては、「利用したことがある」の割合が 26.3%、「あれば利用したいと思う」の割合が 9.8%、「今後も利用したいと思わない」の割合が 37.0%、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 24.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 29.8%、「中央値未満」の世帯では 24.7%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 21.2%と、等価世帯収入の水準が低い世帯ほど利用したことがある割合が低くなっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、「中央値以上」の世帯では 9.9%、「中央値未満」の世帯では 11.3%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 6.3%となっている。

世帯状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では 26.5%、「ひとり親世帯」では 31.3%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 32.2%と、「ふたり親世帯」に比べて「ひとり親世帯」の方が高くなっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、「ふたり親世帯」では 10.4%、「ひとり親世帯」では 6.8%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 5.6%となっている。

図 2-4-2-1 支援制度・居場所等の利用状況 (平日の夜や休日を過ごすことができる場所)

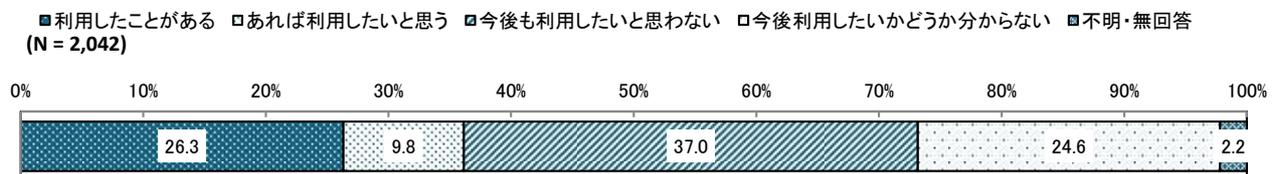


図 2-4-2-2 【等価世帯収入の水準別】支援制度・居場所等の利用状況

(平日の夜や休日を過ごすことができる場所)

(件、%)

		全 体	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない
全 体		1,997	26.9	10.1	37.9	25.1
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	208	21.2	6.3	42.8	29.8
	中央値未満	769	24.7	11.3	36.4	27.6
	中央値以上	1,020	29.8	9.9	37.9	22.4

図 2-4-2-3 【世帯状況別】支援制度・居場所等の利用状況

(平日の夜や休日を過ごすことができる場所)

(件、%)

		全 体	利用したこと がある	あれば利用 したいと思う	今後も利用し たいと思わな い	今後利用し たいかどうか 分からない
全 体		1,997	26.9	10.1	37.9	25.1
世帯状況 (保護者・ 問2)	【ふたり親世帯】	1,802	26.5	10.4	38.0	25.1
	【ひとり親世帯】	192	31.3	6.8	36.5	25.5
	ひとり親世帯のうち母子世帯	177	32.2	5.6	37.3	24.9

(2) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所

子ども票問2 4. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

(a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

b. (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (こども食堂など)

支援制度・居場所等の利用状況について、「(自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (こども食堂など)」に関しては、「利用したことがある」の割合が 4.0%、「あれば利用したいと思う」の割合が 30.5%、「今後も利用したいと思わない」の割合が 35.4%、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 28.1% となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 4.4%、「中央値未満」の世帯では 3.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 3.9%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、「中央値以上」の世帯では 30.7%、「中央値未満」の世帯では 32.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 28.5%となっている。

世帯状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では 4.3%、「ひとり親世帯」では 2.6%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 2.3%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、「ふたり親世帯」では 30.8%、「ひとり親世帯」では 33.9%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 34.5%となっている。

図 2-4-2-4 支援制度・居場所等の利用状況 (夕ごはんを無料か安く食べることができる場所)

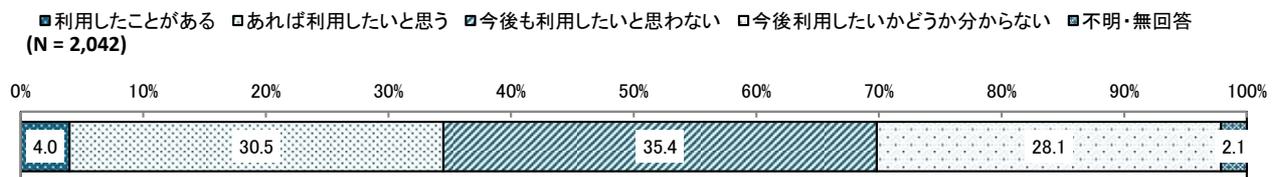


図 2-4-2-5 【等価世帯収入の水準別】支援制度・居場所等の利用状況

(夕ごはんを無料か安く食べることができる場所)

(件、%)

	全 体	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	
全 体	1,999	4.1	31.1	36.1	28.7	
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	207	3.9	28.5	38.2	29.5
	中央値未満	771	3.8	32.4	32.9	30.9
	中央値以上	1,021	4.4	30.7	38.1	26.8

図 2-4-2-6 【世帯状況別】支援制度・居場所等の利用状況

(夕ごはんを無料か安く食べることができる場所)

(件、%)

		全 体	利用したこと がある	あれば利用 したいと思う	今後も利用し たいと思わな い	今後利用し たいかどうか 分からない
全 体		1,999	4.1	31.1	36.1	28.7
世帯状況 (保護者・ 問2)	【ふたり親世帯】	1,804	4.3	30.8	36.4	28.5
	【ひとり親世帯】	192	2.6	33.9	32.8	30.7
	ひとり親世帯のうち母子世帯	177	2.3	34.5	33.8	29.9

(3) 勉強を無料でみてくれる場所

子ども票問2 4. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。
 (a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
 c. 勉強を無料でみてくれる場所

支援制度・居場所等の利用状況について、「勉強を無料でみてくれる場所」に関しては、「利用したことがある」の割合が 3.7%、「あれば利用したいと思う」の割合が 39.9%、「今後も利用したいと思わない」の割合が 29.8%、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 24.5%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 3.9%、「中央値未満」の世帯では 3.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 3.8%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、「中央値以上」の世帯では 40.3%、「中央値未満」の世帯では 41.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 39.4%となっている。

世帯状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では 3.7%、「ひとり親世帯」では 4.7%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 5.1%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、「ふたり親世帯」では 40.8%、「ひとり親世帯」では 40.1%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 40.7%となっている。

図 2-4-2-7 支援制度・居場所等の利用状況（勉強を無料でみてくれる場所）

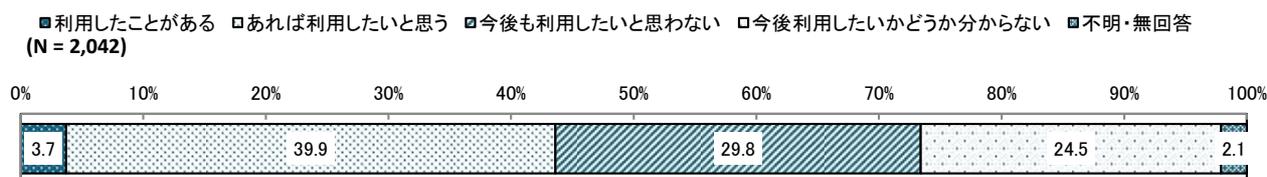


図 2-4-2-8 【等価世帯収入の水準別】支援制度・居場所等の利用状況

(勉強を無料でみてくれる場所)

(件、%)

	全 体	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	
全 体	1,999	3.8	40.8	30.4	25.0	
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	208	3.8	39.4	29.3	27.4
	中央値未満	769	3.6	41.7	28.5	26.1
	中央値以上	1,022	3.9	40.3	32.1	23.7

図 2-4-2-9 【世帯状況別】支援制度・居場所等の利用状況

(勉強を無料でみてくれる場所)

(件、%)

	全 体	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	
全 体	1,999	3.8	40.8	30.4	25.0	
世帯状況 (保護者・問2)	【ふたり親世帯】	1,804	3.7	40.8	30.5	25.0
	【ひとり親世帯】	192	4.7	40.1	30.2	25.0
	ひとり親世帯のうち母子世帯	177	5.1	40.7	29.9	24.3

(4) 何でも相談できる場所

子ども票問2 4. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

d. (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)

支援制度・居場所等の利用状況について、「(家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)」に関しては、「利用したことがある」の割合が 2.2%、「あれば利用したいと思う」の割合が 19.7%、「今後も利用したいと思わない」の割合が 40.1%、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が 35.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 2.3%、「中央値未満」の世帯では 1.9%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 3.4%、となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、「中央値以上」の世帯では 20.8%、「中央値未満」の世帯では 20.6%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 15.0%、となっている。

世帯状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では 2.2%、「ひとり親世帯」では 3.2%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 3.4%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、「ふたり親世帯」では 20.2%、「ひとり親世帯」では 20.0%、「ひとり親世帯のうち母子世帯」では 19.4%となっている。

図 2-4-2-10 支援制度・居場所等の利用状況 (何でも相談できる場所)

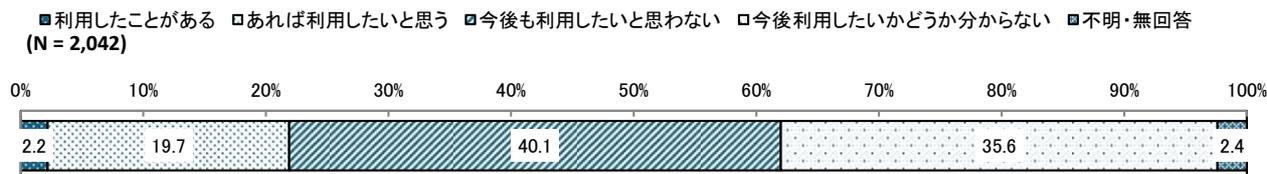


図 2-4-2-11 【等価世帯収入の水準別】支援制度・居場所等の利用状況

(何でも相談できる場所)

(件、%)

	全 体	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	
全 体	1,993	2.3	20.2	41.1	36.5	
等価世帯収入	中央値の2分の1未満	206	3.4	15.0	42.7	38.8
	中央値未満	770	1.9	20.6	39.7	37.7
	中央値以上	1,017	2.3	20.8	41.8	35.1

図 2-4-2-12 【世帯状況別】支援制度・居場所等の利用状況

(何でも相談できる場所)

(件、%)

	全 体	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	
全 体	1,993	2.3	20.2	41.1	36.5	
世帯状況 (保護者・問2)	【ふたり親世帯】	1,800	2.2	20.2	41.0	36.6
	【ひとり親世帯】	190	3.2	20.0	41.6	35.3
	ひとり親世帯のうち母子世帯	175	3.4	19.4	41.7	35.4

(5) 支援制度・居場所等の利用による変化

【問 2 4 で 1 つでも 1 (「利用したことがある」) と答えた方に】

子ども票問 2 5. 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた人にお聞きます。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

(1～9 については、あてはまるものすべてに○)

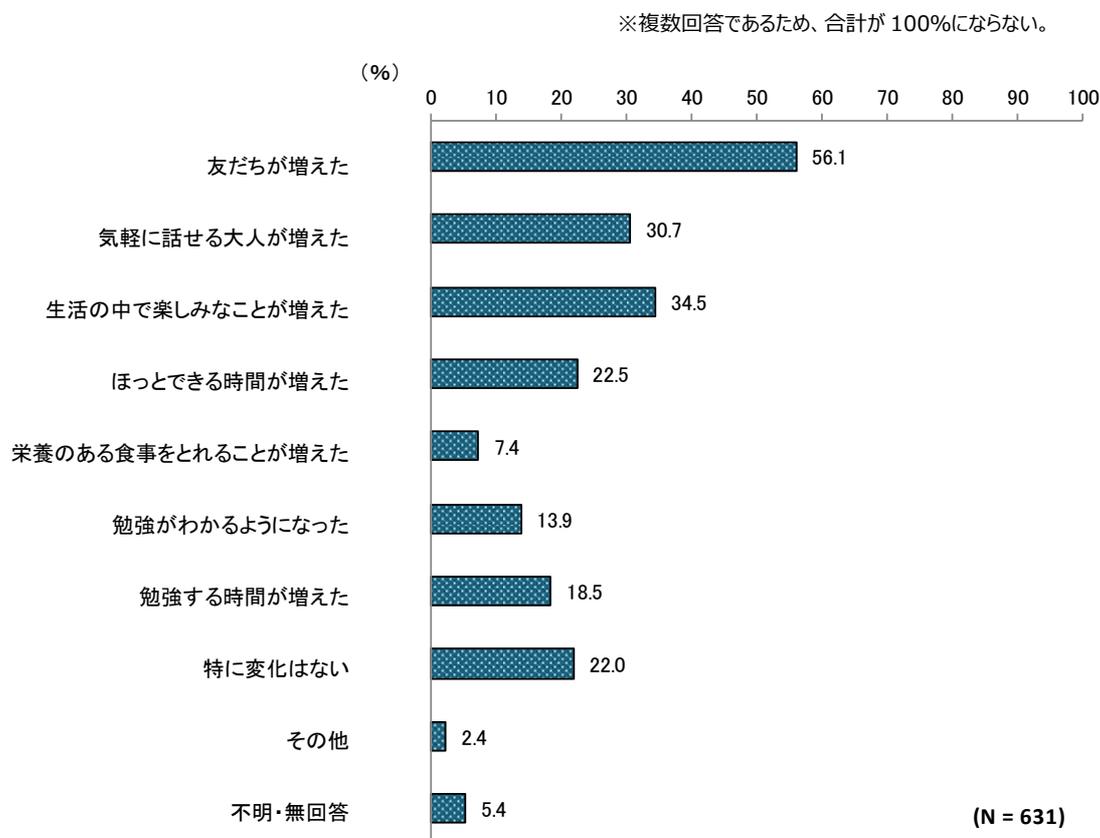
いずれかの支援制度・居場所等を利用したことがある場合に、利用による変化をどのように考えているかについて集計を行った。「特に変化はない」以外の回答では、「友だちが増えた」の割合が 56.1%、「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が 34.5%、「気軽に話せる大人が増えた」の割合が 30.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「友だちが増えた」の割合が 50.8%、「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が 30.5%となっているものの、他の水準の世帯と比べて、「特に変化はない」以外の項目の割合が低くなっている。

世帯状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「友だちが増えた」の割合が 62.1%、「ほっとできる時間が増えた」の割合が 28.8%と、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

また、利用した支援制度・利用場所の内容別に集計すると¹⁴「何でも相談できる場所」を利用したことがある場合は、「友だちが増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」と回答している割合が高くなっている。

図 2-4-2-13 支援制度・居場所等の利用による変化



¹⁴ 該当する支援制度・居場所等を利用したことがある子どもについて、他の支援制度・居場所を利用したことがある場合でも集計に含める形でクロス集計を行った。

図 2-4-2-14 【等価世帯収入の水準別】支援制度・居場所等の利用による変化

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

	全 体	友だちが増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	特に変化はない	その他
全 体	597	59.3	32.5	36.5	23.8	7.9	14.7	19.6	23.3	2.5
等価世帯収入										
中央値の2分の1未満	59	50.8	18.6	30.5	20.3	5.1	10.2	15.3	28.8	1.7
中央値未満	207	58.0	32.4	35.3	23.7	9.2	15.9	19.3	24.2	2.9
中央値以上	331	61.6	35.0	38.4	24.5	7.6	14.8	20.5	21.8	2.4

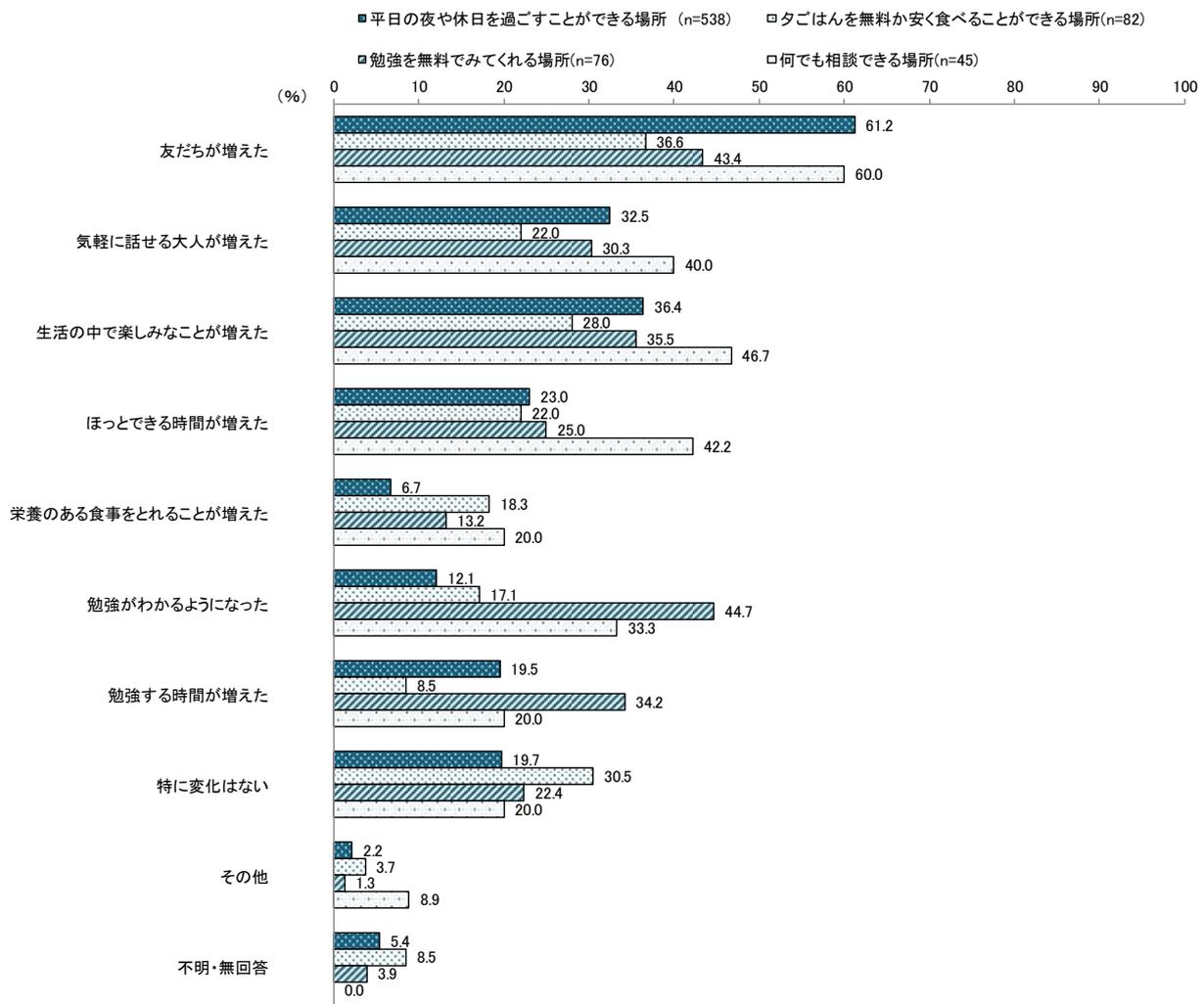
図 2-4-2-15 【世帯状況別】支援制度・居場所等の利用による変化

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。(件、%)

	全 体	友だちが増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	特に変化はない	その他
全 体	597	59.8	32.5	36.5	23.8	7.9	14.7	19.6	23.3	2.5
世帯状況										
【ふたり親世帯】	531	58.9	32.6	36.9	23.2	7.9	14.7	19.6	22.8	2.4
(保護者・【ひとり親世帯】	66	62.1	31.8	33.3	28.8	7.6	15.2	19.7	27.3	3.0
問2) ひとり親世帯のうち母子世帯	62	64.5	32.3	33.9	30.6	8.1	14.5	21.0	24.2	3.2

図 2-4-2-16 利用経験のある支援制度・居場所等の内容別、利用による変化

※複数回答であるため、合計が 100%にならない。



3. 參考資料

3.1.収入の水準に関する資料（等価世帯収入の算出）

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50 万円未満」であれば 25 万円、「50～100 万円未満」であれば 75 万円とする。なお、「1000 万円以上」は 1050 万円とする。）
- 上記の値を、保護者票問 2 で把握される同居家族の人数¹⁵の平方根をとったもので除す。
- 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その 2 分の 1 未満であるか否かで分類する。

●等価世帯収入の中央値：325 万円、等価世帯収入の中央値の 2 分の 1：162.5 万円

等価世帯収入 (万円)	世帯数	割合 (%)	累積割合 (%)	等価世帯収入 (万円)	世帯数	割合 (%)	累積割合 (%)	等価世帯収入 (万円)	世帯数	割合 (%)	累積割合 (%)
11.18	2	0.1	0.1	162.5	28	1.4	12.0	325	134	6.6	55.7
12.5	2	0.1	0.2	167.71	24	1.2	13.2	335.41	62	3.0	58.7
14.43	5	0.2	0.4	167.94	3	0.1	13.3	335.88	4	0.2	58.9
17.68	1	0.0	0.5	173.51	10	0.5	13.8	347.01	9	0.4	59.4
33.54	4	0.2	0.7	187.5	38	1.9	15.7	359.07	4	0.2	59.5
37.5	4	0.2	0.9	187.64	13	0.6	16.3	375	123	6.0	65.6
43.3	3	0.1	1.0	190.07	33	1.6	17.9	375.28	28	1.4	66.9
47.25	1	0.0	1.1	193.92	14	0.7	18.6	380.13	39	1.9	68.9
53.03	3	0.1	1.2	194.45	5	0.2	18.9	380.13	0	0.0	68.9
55.9	6	0.3	1.5	207.88	7	0.3	19.2	387.41	5	0.2	69.1
62.5	7	0.3	1.9	212.43	40	2.0	21.2	387.84	7	0.3	69.4
66.14	1	0.0	1.9	212.5	40	2.0	23.1	388.91	3	0.1	69.6
71.44	1	0.0	2.0	216.51	29	1.4	24.5	418.45	22	1.1	70.7
72.17	9	0.4	2.4	224.54	18	0.9	25.4	424.85	43	2.1	72.8
78.26	7	0.3	2.7	229.81	3	0.1	25.6	425	101	4.9	77.7
79.55	3	0.1	2.9	237.5	61	3.0	28.6	433.01	26	1.3	79.0
87.5	11	0.5	3.4	245.37	18	0.9	29.4	458.39	113	5.5	84.5
88.39	4	0.2	3.6	245.68	7	0.3	29.8	459.62	1	0.0	84.6
90.14	1	0.0	3.7	245.97	67	3.3	33.1	475	80	3.9	88.5
91.86	1	0.0	3.7	265.17	2	0.1	33.2	490.75	21	1.0	89.5
100.62	8	0.4	4.1	265.36	22	1.1	34.2	512.5	159	7.8	97.3
101.04	11	0.5	4.7	274.24	16	0.8	35.0	548.48	26	1.3	98.6
103.94	1	0.0	4.7	275	157	7.7	42.7	591.78	29	1.4	100.0
112.27	1	0.0	4.8	283.47	12	0.6	43.3				
112.5	8	0.4	5.1	290.69	58	2.8	46.1				
114.9	2	0.1	5.2	300.52	3	0.1	46.3				
122.84	3	0.1	5.4	306.19	16	0.8	47.1				
122.98	14	0.7	6.1	316.67	1	0.0	47.1				
123.74	9	0.4	6.5	317.54	34	1.7	48.8				
129.9	11	0.5	7.1	321.27	7	0.3	49.1				
132.58	1	0.0	7.1								
132.68	6	0.3	7.4								
137.5	16	0.8	8.2								
141.67	1	0.0	8.2								
141.74	1	0.0	8.3								
145.34	17	0.8	9.1								
153.09	7	0.3	9.5								
158.77	15	0.7	10.2								
159.1	6	0.3	10.5								
160.63	3	0.1	10.6								

¹⁵ 単身赴任中の方は人数に含めていない。

